BUFFALO

MO ディスクドライブ

MOS-U1300FB

ハードウェアマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ➘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

・本製品を「MOS」と表記しています。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。
また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
- 一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
また弊社は、本製品に関して海外での保守および技術サポートは行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等(または役務)に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可(または役務取引許可)が必要です。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：⚠ 感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：⃠ 分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：● プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

禁止

パソコンの使用直後は、パソコン内部の部品に手を触れないでください。

特にCPUやVGAチップが高温になっており、手を触れるとやけどをする恐れがあります。パソコンの電源スイッチをOFFにした後、30分以上たってから作業することをおすすめします。

強制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告・注意指示に従ってください。

分解禁止

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。

火災や感電の恐れがあります。

強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする恐れがあります。

禁止

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源プラグがACコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、ACコンセントに接続されていなくても本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く

本製品の取り付け／取り外しをするときは、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、電源プラグをACコンセントから抜いてください。

電源プラグがコンセントに接続されたまま、取り付け／取り外しを行うと、感電および故障の原因となります。

強制

イジェクトピンは、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

本製品に付属するイジェクトピンは、小さなお子様の手の届かないところに置き、使用後は放置せずに直ちに片付けるようにしてください。目をついたり飲み込んだりして、けがをする恐れがあります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。

弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。

弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、パソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。

弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電・故障する恐れがあります。

強制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

禁止

レーザー光線を直視しないでください。

ディスク挿入口を開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。
レーザー光が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

⚠ 注意

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。

強制

各接続コネクタのチリ・ほこり等は、取りのぞいてください。
各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。

パソコンおよび周辺機器の電源スイッチがONの状態で、SCSIインターフェースケーブルの抜き差しをしないでください。
本製品および周辺機器の故障の原因となります。

強制

本製品の取り付け／取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスクやフロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。データが消失、破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

・強い磁界、静電気が発生するところ
・温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
・ほこりの多いところ
　故障の原因となります。
・振動が発生するところ
　けが、故障、破損の原因となります。
・平らでないところ
　転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・直射日光が当たるところ
・火気の周辺、または熱気のこもるところ
　故障や変形の原因となります。
・漏電、漏水の危険があるところ
　故障や感電の原因となります。

禁止

ディスク挿入口に、MOディスク以外のものを挿入しないでください。

MOディスク以外のもの（フロッピーディスクなど）を挿入すると、故障や火災の原因となります。

禁止

MOディスクを入れたままパソコンを移動しないでください。

本製品の動作中または、MOディスクを本製品に入れた状態で、パソコンを移動しないでください。
MOディスク、本製品に損傷を与える恐れがあります。パソコンを移動する場合は、必ずMOディスクを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

禁止

MOディスクを途中まで入れた状態で放置しないでください。

本製品内部にほこりが入り、故障の原因となります。

禁止

ひびわれや変形、補修したMOディスクは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

特長

● 大容量1.3GBのMOディスクを使用可能
1.3GBの大容量MOディスクを使用可能です。従来の128MB、230MB、540MB、640MBのMOディスクも使用可能です。

● 高速回転、高速転送
MOディスクの回転速度は、1.3GBのMOディスク使用時は3200rpm、640MB以下のMOディスク使用時は4558rpmです。またUltraSCSIインターフェイスに対応しているので最大同期転送速度は20MB/sec（理論値）です。

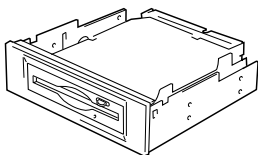
● ダイレクトオーバーライト方式（DOW）に対応
230MB、540MB、640MBのMOディスクでダイレクトオーバーライト方式による高速書き込みが可能です。

※ ダイレクトオーバーライト方式で書き込むためには、MOディスクもダイレクトオーバーライト方式に対応している必要があります。

● キャッシュ・ミレニアム搭載
OSからのコマンド系列を解析してキャッシュ（バッファ）制御する「キャッシュ・ミレニアム」を搭載しています。

パッケージの内容

パッケージには次の物が梱包されています。万一、不足している物がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品の形状はイラストと異なることがあります。

●MOS（本体）.......................... 1台

●5型ファイルベイ取付金具 1個

※ 出荷時はMOS本体に取り付けられています。MOSを3.5型ファイルベイに取り付けるときは外してください。

●取り付けネジ 4本

●イジェクトピン 1本

●フロッピーディスク
「MOSシリーズドライバディスク」 1枚

●MOSシリーズ セットアップマニュアル 1冊

●ハードウェアマニュアル（本書） 1冊

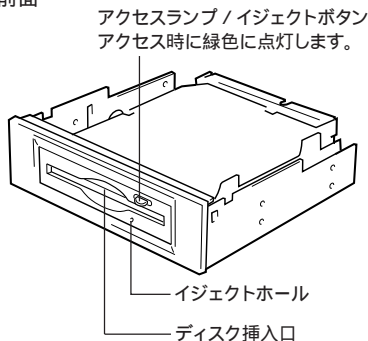
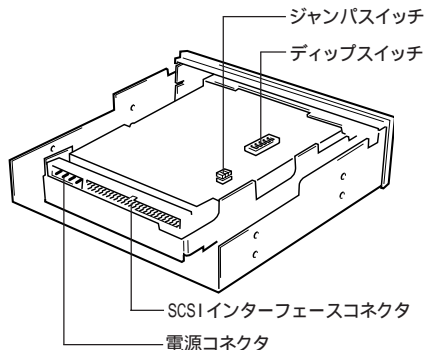
●1.3GB MOディスク（未フォーマット） 1枚

●保証書、ユーザー登録はがき 1枚

※ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。

※ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

各部の名称

● 前面

● 背面

セットアップのながれ

MOSのセットアップ手順は次のとおりです。

パソコン→周辺機器の順に電源スイッチをOFFにする

▼

MOSの設定をする
・SCSI-IDの設定 .... 【P9】
・ターミネータの設定 .... 【P9】

▼

MOSをパソコンに取り付ける
・3.5型ファイルベイに取り付ける ..... 【P10】
・5型ファイルベイに取り付ける ..... 【P11】

▼

周辺機器→パソコンの順に電源スイッチをONにする

（以上、本書（ハードウェアマニュアル））

▼

必要に応じてSCSIインターフェースまたは
パソコン本体の設定をする

── パソコン、またはSCSIインターフェースボードのマニュアルを参照

▼

付属のユーティリティをインストールする
※フロッピーディスクに収録されている「MOユーティリティ」をインストールすると、自動的にドライバもインストールされます。必ずインストールしてください。

── 別冊「MOSシリーズセットアップマニュアル」参照

本書ではSCSI/SCSI-2インターフェースとUltra SCSIインターフェースを合わせて「SCSIインターフェース」と表記しています。

接続時の注意

SCSI機器を接続する時の注意事項を、次の図の 1 ～ 4 で説明しています。必ずお読みください。

使用できるケーブルの長さ 1

3

<内蔵 SCSI 機器>

3

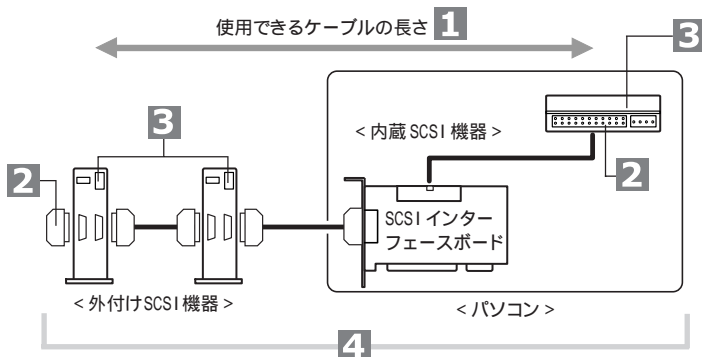
2

2

SCSI インターフェースボード

<外付けSCSI機器>

<パソコン>

4

本製品はUltra SCSI機器です。本ページに記載の接続台数とSCSIケーブルの長さの制限は必ずお守りください。

1 SCSI ケーブルとコネクタ

● MOSを接続するSCSIインターフェースがUltra SCSI対応かSCSI-2対応かによって、接続できるSCSI機器の台数と、接続に使用できるSCSIケーブルの長さの合計が異なります。

SCSIインターフェースの種類	接続台数	ケーブルの長さの合計(*1)
Ultra SCSIインターフェース(*2)	1～3台	3m以下
	4～7台	1.5m以下
SCSI-2インターフェース	7台まで	6m以下

*1 ケーブルの長さの合計には、SCSI機器の内部に配線されている部分（10～20cm程度）も含まれます。

*2 Ultra SCSI対応のSCSI機器を使用するときは、SCSI機器の台数が多くなるほどSCSIケーブルの長さの合計を短くする必要があります。ケーブルの長さが1.5mを超えるときは、Ultra SCSIインターフェースの転送速度をSCSI-2相当（理論値10MB/sec）に変更すれば、ケーブルを6mまで使用できます。転送速度の変更方法は、SCSIインターフェースのマニュアルを参照してください。

● SCSIケーブルは一般的なSCSI-2の標準に適合した物を使用してください。

● SCSIケーブルとSCSI機器のコネクタ形状が合っているか確認してください。

● 接続に使用するSCSIケーブルの特性インピーダンス値を統一してください。特性インピーダンス値は、SCSIケーブルのパッケージやケーブル自体に印刷されています。弊社製 SCSIケーブルの場合は、約90Ωに統一されています。

● 内蔵SCSI機器を接続する場合は、事前に次のことを確認してください。
・SCSI機器がパソコンに取り付け可能か（空いているファイルベイがあるか）
・SCSIケーブルの長さが十分か（SCSIインターフェースボードからSCSI機器まで届くか）

● SCSIケーブルを接続する前に、コネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。

2 ターミネータ（終端抵抗）

● デイジーチェーン（*）の終端に接続するSCSI機器には、必ずターミネータを取り付けてください。ターミネータ機能を内蔵するSCSI機器を終端に接続した場合は、ターミネータ機能を有効にしてください。
内蔵SCSI機器の場合も、SCSIケーブルの終端（1台目用のコネクタ）に接続するSCSI機器は必ずターミネータ機能を有効にしてください。【P9「ターミネータの設定」】

*: 複数のSCSI機器をケーブルで直列につないだ状態

3 SCSI-ID

● 同じSCSI-IDを複数のSCSI機器に割り当てないでください。ただし、複数のSCSIインターフェースボードを併用しているときは、異なるSCSIバス間で同じSCSI-IDがあっても構いません。【P9「SCSI-IDの設定」】

4 システム全般

● 取り付け作業をするときは、必ずパソコン本体と周辺機器のマニュアルを参照してください。

● 取り付け作業を始める前に、必ずパソコンの電源スイッチをOFFにしてください。

● 大切なデータを守るため、パソコンと周辺機器の電源スイッチをOFFにする前にアプリケーションをすべて終了し、ハードディスクなどに記録されているデータを他のメディア（フロッピーディスクなど）に保存してください。

● パソコンおよびMOSは精密機器です。巻頭の「安全にお使いいただくために必ずお守りください」を必ず参照してください。

● 取り付け作業を始める前に、次の物を用意してください。
・パソコンおよび周辺機器のマニュアル
・本製品および付属品
・SCSIインターフェースボード
・フラットケーブル（SCSIインタフェースボード付属）

● 複数のSCSI機器を接続するとき
システムの動作が不安定になる場合があります。その場合は、次の方法で回避できることがあります。
・Ultra SCSI対応機器(MOSを含む)をデイジーチェーンの終端、またはその近くに接続する
・できるだけ短いSCSIケーブルでSCSI機器を接続する
・接続しているSCSI機器の電源スイッチをすべてONにする
以上の作業を行っても回避できないときは、接続するSCSI機器の台数を減らしてください。

⚠注意 Ultra SCSIインターフェースを使用すると、Ultra SCSI対応SCSI機器のデータ転送速度（理論値）がSCSIインターフェースの2倍になりますが、データをやり取りするタイミングが厳密になるため、複数のSCSI機器を接続した場合に動作が不安定になることがあります。

MOS の設定

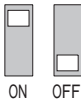
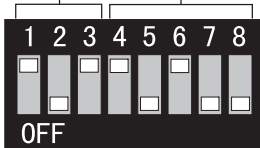
MOSをパソコンに取り付ける前に、使用環境に合わせてSCSI-IDとターミネータの設定を変更します。

SCSI-IDの設定

パソコンにSCSI機器を識別させるために、各SCSI機器にSCSI-IDと呼ばれる番号を割り当てます。

- MOSのSCSI-IDは、MOS上のディップスイッチで設定します。
  ディップスイッチの位置は、【P5】を参照してください。
- SCSI-IDは出荷時に5に設定されています。
- 複数のSCSI機器と併用するときは、SCSI-IDが他のSCSI機器と重複しないように変更してください。
- SCSI-IDは0～6の範囲で設定してください。7は通常SCSIインターフェースが使用します。0から順に1、2、3...と連続して設定することをおすすめします。
- スイッチのON/OFFは、先が細く堅い針金などで行ってください。

SCSI-IDを設定します。
通常は使用しません。（設定を変更しないでください）

1 2 3 4 5 6 7 8
OFF

ON OFF

SCSI-ID ＼ ディップスイッチ	1	2	3
0	OFF	OFF	OFF
1	OFF	OFF	ON
2	OFF	ON	OFF
3	OFF	ON	ON

SCSI-ID ＼ ディップスイッチ	1	2	3
4	ON	OFF	OFF
5（出荷時設定）	ON	OFF	ON
6	ON	ON	OFF
7	ON	ON	ON

ターミネータの設定

MOSをデイジーチェーン(*)の終端に接続するかどうかによって、MOSのターミネータ機能を設定する必要があります。

* 複数のSCSI機器をケーブルで直列につないだ状態

- MOSのターミネータ機能は、MOS上のジャンパスイッチで設定します。
  ジャンパスイッチの位置は、【P5】を参照してください。
- MOSをデイジーチェーンの終端に接続するときは、ジャンパスイッチを出荷時設定（ターミネータ機能有効）のままにして使用してください。
  出荷時は、ターミネータ機能は有効になっています。

ターミネータ機能	ジャンパスイッチの設定
有効（出荷時設定）	6 / 5
無効	6 / 5

パソコンへの取り付け

MOSは、パソコンの3.5型ファイルベイや5型ファイルベイに取り付けられます。
事前にMOSのSCSI-IDとターミネータの設定をしておいてください。【P9】

⚠注意 •MOSは、デスクトップ型のPC-9821シリーズには取り付けられません。
•ここで解説している手順は一例です。取り付けの際は、必ずパソコンのマニュアルも参照してください。

パソコンへの取り付け手順は、取り付けるファイルベイの種類によって異なります。

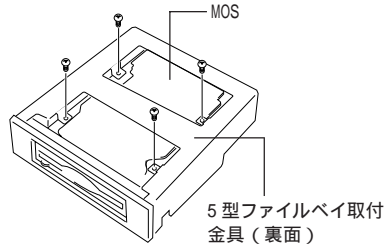
•3.5型ファイルベイに取り付ける場合 ....【P10】
•5型ファイルベイに取り付ける場合 ....【P11】

3.5型ファイルベイへの取り付け

1 MOS裏面のネジを外し、5型ファイルベイ取付金具を取り外します。

取り外したネジと5型ファイルベイ取付金具は大切に保管してください。

MOS

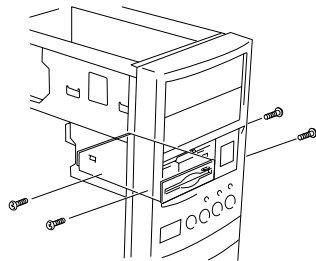
5型ファイルベイ取付金具（裏面）

2 パソコン→周辺機器の順に電源スイッチをOFFにします。

3 パソコンのカバーとケーブル類を取り外します。

詳しい方法は、パソコンのマニュアルを参照してください。

⚠注意 電源ケーブルは必ず取り外してください。

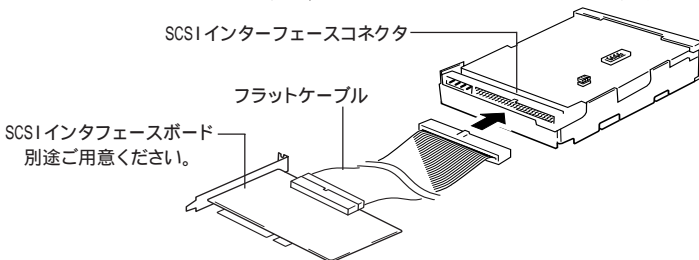
4 3.5型ファイルベイにMOSを挿入し、付属の取り付けネジ（4本）で固定します。

メモ パソコンによっては、3.5型ファイルベイのネジ穴が2つしかないものがあります。その場合は、付属の取り付けネジ（2本）で固定してください。

5 MOSのSCSIインターフェースコネクタに、フラットケーブルのコネクタを接続します。

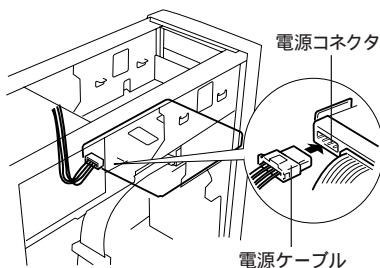
フラットケーブルのコネクタの突起と、MOSのSCSIインターフェースコネクタの切り欠きを合わせてください。

SCSIインターフェースコネクタ

フラットケーブル

SCSIインタフェースボード
※別途ご用意ください。

6 **MOSの電源コネクタに、パソコン側の電源ケーブルを接続します。**

コネクタの向きに注意してください。

電源コネクタ

電源ケーブル

7 **パソコンのカバーを取り付け、ケーブル類と周辺機器を元どおり接続します。**

以上でMOSの取り付けは完了です。

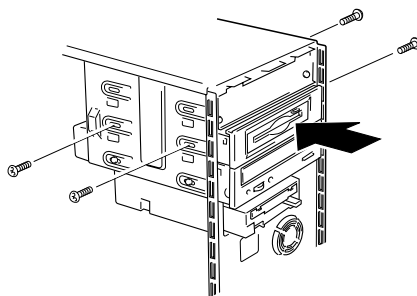
5型ファイルベイへの取り付け

1 **パソコン→周辺機器の順に電源スイッチをOFFにします。**

2 **パソコンのカバーとケーブル類を取り外します。**

詳しい方法は、パソコンのマニュアルを参照してください。

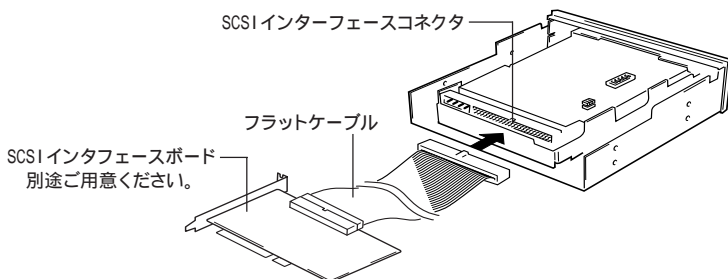
⚠注意 電源ケーブルは必ず取り外してください。

3 **5型ファイルベイにMOSを挿入し、付属の取り付けネジ(4本)で固定します。**

4 **MOSのSCSIインターフェースコネクタに、フラットケーブルのコネクタを接続します。**

フラットケーブルのコネクタの突起と、MOSのSCSIインターフェースコネクタの切り欠きを合わせてください。

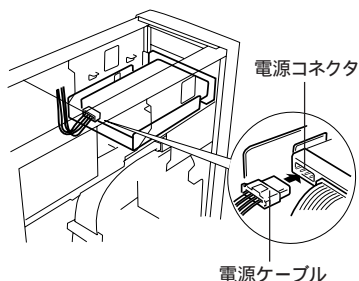
SCSIインターフェースコネクタ

フラットケーブル

SCSIインタフェースボード
※別途ご用意ください。

5　MOSの電源コネクタに、パソコン側の電源ケーブルを接続します。

コネクタの向きに注意してください。

電源コネクタ

電源ケーブル

6　パソコンのカバーを取り付け、ケーブル類および周辺機器を元どおり接続します。

以上でMOSの取り付けは完了です。

MOSの使いかた

使用時の注意

● MOディスクの初期化について
MOディスクは、使用する前に初期化(フォーマット)する必要があります。本製品にはMOディスクをフォーマットするためのプログラムが添付されています。
インストール方法や使いかたについては、別冊「MOSシリーズセットアップマニュアル」を参照してください。

● MOSのアクセスランプが点灯しているときは、パソコンからアクセスしないでください。
MOSの準備ができていないため、アクセスエラーが発生します。

● MOディスクにアクセスしているとき(アクセスランプが点灯しているとき)は、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。
MOディスク内のデータが破損するおそれがあります。

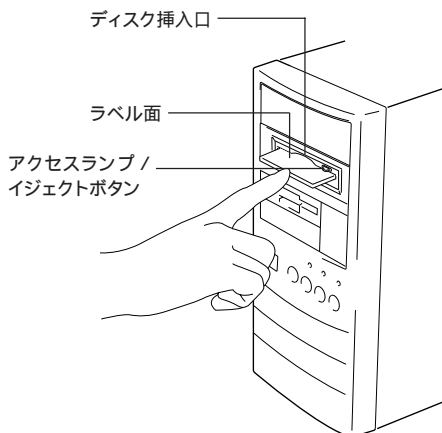
● MOディスクにラベルを貼るときは、指定の位置からはみ出さないようにしてください。
MOS内でラベルがはがれると、MOディスクが取り出せなくなることがあります。
取り出せなくなったときは無理に取り出そうとせず、そのまま弊社修理センターまで修理をご依頼ください。【P17】

● Windows95でMOディスクにバックアップするときの注意
Windows95付属のバックアップツールを使用してMOディスクにバックアップするときは、バックアップするデータの総容量がMOディスクの容量を超えないようにしてください。MOディスクの容量を超えたデータはバックアップできません(これはバックアップツールの仕様によるものです)。

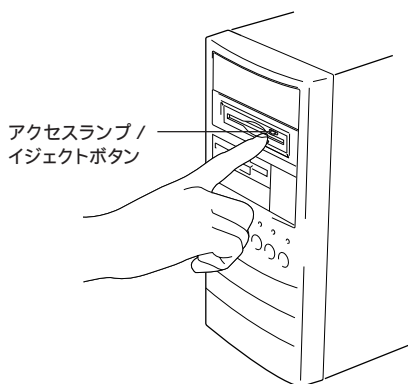
MOディスクの挿入

MOディスクのラベル面を上に向け、ディスク挿入口に挿入します。

正しく挿入されると、アクセスランプが緑色で3～4秒間点灯します。

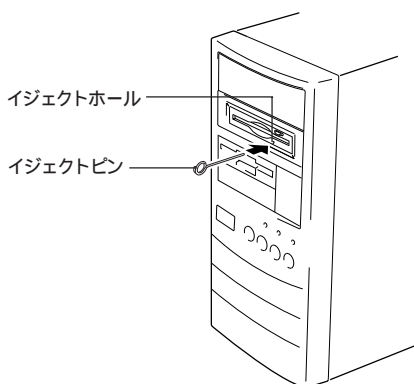
⚠注意 パソコンからMOディスクへのアクセスは、アクセスランプが消えてから行ってください。アクセスランプの点灯中は、MOディスクにアクセスできません。

MOディスクの取り出し

MOSのアクセスランプが消えていることを確認し、イジェクトボタンを押します。

MOディスクが2～3cm出てきたら、MOディスクを手で取り出します。

MOディスクが取り出せないとき

停電などによってMOディスクがMOSに入ったままパソコンの電源が切れてしまうと、イジェクトボタンを押してもMOディスクが排出されなくなってしまいます。

その場合は、付属のイジェクトピンをイジェクトホールに差し込み、強制的にMOディスクを排出してください。

⚠注意 この操作は、必ずパソコン本体の電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

MO ディスクを書き込み禁止にするとき

MOディスクに記録したデータを誤って消去してしまわないように、MOディスクへの書き込みを禁止できます。

ボールペンなどを使って、MOディスクの背面にある「プロテクトノッチ」を書き込み禁止の位置に移動させてください。

再度データを書き込むときは、プロテクトノッチを書き込み許可の位置に移動させます。

書き込み可能
書き込み禁止
プロテクトノッチ

仕様

製品仕様

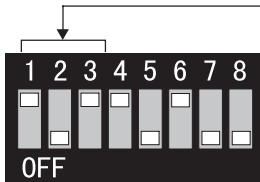
製品型番		MOS-U1300FB				
インターフェース		Ultra SCSI(FAST-20)				
ディスク		3.5型光磁気ディスクカートリッジ（ISO規格準拠）				
記憶容量		128MB	230MB	540MB	640MB	1.3GB
ダイレクトオーバーライト方式		ー	対応			ー
ディスク回転数		4558rpm				3200rpm
平均回転待ち時間		6.6msec				9.3msec
平均シークタイム		23msec				
最大転送速度（理論値）	Ultra SCSI	20MB/sec				
	SCSI-2	10MB/sec				
SCSI-ID		0〜7(*1)の範囲で設定可能（出荷時設定：5）				
外部ターミネータへの電源供給		供給する				
バッファメモリ容量		2MB				
電圧		5V±5%				
平均消費電力(ランダムライト時)		5.3W				
外形寸法		102(W)×26(H)×150(D)mm(ドライブ部)				
動作環境	温度	5〜35℃（勾配10℃/時）				
	湿度	20〜80%（結露なきこと）				
対応機種		DOS/V機（OADG仕様）(*2) NEC製 PC98-NXシリーズ（5型ベイ搭載パソコン）(*2) PC-9821シリーズ（5型ベイ搭載ミニタワーモデル）(*2)				
対応OS		DOS/V機　Windows98/95 Windows2000/NT4.0/NT3.51 Windows3.1 MS-DOS 6.2/V以降、PC DOS J6.3/V以降 PC98-NXシリーズ　Windows98/95 Windows2000/NT4.0 PC-9821シリーズ　Windows98/95 Windows2000/NT4.0/NT3.51 Windows3.1 MS-DOS 5.0A-H以降				

*1 7(SCSI-ID)は通常SCSIインターフェースが使用しています。

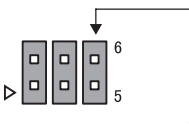
*2 弊社製SCSIインターフェースと併用してください。

※ 採用ドライブは富士通製ですが、デバイス名は「KONICA...」と表示されます。デバイス名は、パソコンを起動したときのSCSI BIOSのメッセージやデバイスマネージャに表示されます。

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)をご参照ください。

ディップスイッチの出荷時設定

番号	機能	出荷時設定
1	SCSI-ID（2^2）	ON
2	SCSI-ID（2^1）	OFF
3	SCSI-ID（2^0）	ON
4	※出荷時設定のままで使用してください	ON
5		OFF
6	ライトキャッシュの設定（*） ON ：ライトキャッシュ有効 OFF：ライトキャッシュ無効	ON
7	※出荷時設定のままで使用してください	OFF
8		OFF

*** MOディスクに書き込みを行うとシステムが停止するなどの現象が発生するときは、OFFに変更してください。**
本製品は、付属のドライバディスクに収録されている「MOキャッシュコントロールユーティリティ」でライトキャッシュの設定を変更することはできません。

ジャンパスイッチの出荷時設定

番号	機能	出荷時設定
1-2	※出荷時設定のままで使用してください	SHORT
3-4		SHORT
5-6	SHORT：ターミネータ機能有効 OPEN ：ターミネータ機能無効	SHORT

■保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

■ 修理について

故障と思われる症状が発生したときは、まずマニュアルを参照して設定や接続が正しいか確認してください。改善されない場合は、次の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付し、弊社修理センター宛に製品を直接お送りください。

① 返送先 ［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
② 平日昼間の連絡先
［氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号］
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 ［始めから/ある日突然/環境を変えたら］
⑧ 発生頻度 ［必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他］
⑨ コンピュータ ［本体メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑩ ハードディスク ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑪ ディスプレイ ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑫ その他周辺機器 ［メーカ名/型番/シリアルナンバー］
⑬ OS(オペレーティング・システム)
［ソフト名/メーカ名/バージョン］
⑭ 製品以外の添付品 ［付属ソフトなど］

製品送付先	〒456-0023 名古屋市熱田区六野2-1-3 中京倉庫内33号6階 株式会社メルコ 修理センター宛
電話番号	052-889-2104

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。
※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。
※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスクはフォーマットいたします。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。
※ 修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

MOS-U1300FB ハードウェアマニュアル

2000年8月3日 初版発行
発行 株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

（ミラーサーバ　http://www.melcoinc.com/）

@nifty

MELCO Station ＜GO SMELCO＞

製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

＜東　京＞ 03-5350-7990

月～金 9:30～12:00/13:00～19:00　※祝日を除く

土/祝 9:30～12:00/13:00～17:00　※日曜日を除く

＜名古屋＞ 052-619-1188

月～金 9:30～12:00/13:00～17:00　※祝日を除く

※事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。

・コンピュータ名と使用OS
・本製品の製品名とシリアルナンバー
・設定内容（スイッチ設定など）
・現象（具体的なエラーメッセージなど）